



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力（考え）で地域を育てる」地まぢづくりをすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体によって取り組まれている地まぢづくりの活動を地まぢのチカラで情報発信します。

令和6年度 まちづくりびと講座 地まぢNEWS

《もっと知りたい、なごやのまちづくり》

本講座では、まちづくりの実践者たちから、3回にわたって、活動への想い・経験をお話いただきます。講座を受講することで、みなさんに「もっと知りたいまちづくり」「私もやりたいまちづくり」そう思ってもらえることを目指します！

毎回異なるテーマに沿って、まさにまちづくり実践中の講師たちから、体験談を聞くことができますよ。

詳細・申込はコチラ



<講座スケジュール> ※各回2時間程度

10/5 ± 13:30～ 第一回「名古屋の未来は屋上にあり!？」

11/9 ± 14:00～ 第二回「感じよう! 中川運河の新拠点」

12/1 ± 14:00～ 第三回「若さに学ぶ! 若者×まちづくり」

※内容は変更になる場合があります。最新情報はセンターHPをご覧ください。

マチゾラ シンサカエマチ 地域の取組み

《駐車場活用で新栄町の夜を盛り上げ!》

マチゾラ横丁は、駐車場を一夜限りのまちの居場所として平日夜に活用するイベント。2回目ということもあってか開始直後から大盛況! 普段は駐車場のスペースに芝生とカラフルな机・椅子、提灯などが設置された会場



は、すぐにほぼ満員に。金曜日の夜ということで、会社帰りの方がビールを楽しんでいる様子が多く見られました。暗くなるにつれだんだんと照明が会場を楽しく彩り始めます。時間帯によって様々な姿を見せてくれるこのイベントは、通りすがりの方も入りやすい雰囲気。ここからさらにつながりや盛り上がり生まれていくであろう、今後も楽しいイベントでした!



スタートアップ助成団体の活動紹介はコチラ→

地まぢチャレンジまちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー



51人目 堀部篤樹さんのご紹介

アールアンドエス設計工房 副所長

谷村 留都さん

Q まちづくりに取り組んできた中でうれしかったこと

A 自分の居場所がどこにあるかを考えるきっかけになった

Qこれから取り組みたいと考えていること

A 高齢者になっても行く場所があり、何かの役に立つことの実感が持てるようなこと

Q最後にひとこと

A いつまでも好奇心を忘れずに

地元・広島県から東京の大学に進学し、現在はご夫婦で名古屋に設計事務所を構えている谷村さん。伺った場所のご自宅兼事務所の、吹き抜けになっている居心地のよい空間。楽しく生活できて家事がうまく回る家づくりを大事にしている谷村さんは、設計の際、依頼者から生活で大事にすることをじっくり聞き取り効率的な動線配置を行います。愛知県建築士会女性委員会が防災関係の担当に携わったことから地域防災に関心を持つようになりました。現在は名古屋大学の「げんさいカフェ」「防災アカデミー」などに自主的に参加。「建築士は水道・電気・ガスの知識もあり倒壊診断もできるので、災害が起きた場面では地域の中心とならなくてはいいな」という言葉がずっと残っており、いざというときには自分がその役目を果たそうと考えているとのことです。本業だけでなく町内会・地域活動など様々な場でも活動しており、地域では高齢者の老化防止や交流などを意識してバザーや体操教室といったイベントを行うほかに、本業や防災の活動で得た知識や人脈などを提案・紹介することもあるとのこと。それを「別に提案とかじゃなくて、知ってたから話ただけ」と事も無げに言う谷村さん。生きていくうえで“日々の生活を大切に”という想いが意識的にではなく自然と染み付いていてそれが本業にも地域活動にも表れているように感じられました。



お知らせ 第7回名古屋まちなみデザインセレクション「まちなみデザイン賞」

良好なまちなみの形成に寄与している建築物やまちづくり活動等を募集! 9/2(月)～11/29(金)

詳細(HP)→

公益財団法人 名古屋まちづくり公社

名古屋都市センター調査課 まちづくり支援 森・清水・尾谷・松井・杉山・三井・木全

https://www.nup.or.jp/nui/ ☎ chimachi@nup.or.jp ☎ 052-678-2214



名古屋都市センター
Nagoya Urban Institute